

ESD通信 No. 4 平成27年12月15日発行

— ふるさを愛し未来を拓く子の育成をめざして —



新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課

tel (0897) 65-1301

2学期末が近づいてきました。前号に引き続き、各小・中学校や新居浜市のESD推進における取組状況をお知らせします。

各学校の取組

学校司書による紙芝居の実演

① 学校図書館を活用した授業（11月25日）

惣開小学校において、中学校区別研修会が開かれました。1年生の特別活動（学級活動）の授業において「そのとき、どうする」という題材で、災害が発生したときにどう行動するかについて考える授業が公開されました。学校司書による紙芝居「地震がきたらどうする？」の実演や防災ゲームを通して、児童は自分の命を守るために主体的に考えたり、行動したりすることの大切さについて学んでいました。

市内の小学校で、学校司書による学校図書館を活用した授業支援は10月364回、11月は、295回でした。昨年以上に各校において積極的に調べ学習等が行われています。



② 若宮小学校防災まち歩き（12月4日）

3年生児童が地域の方と一緒に校区内の防災施設を訪ねながら、校区の災害の歴史や防災活動について学び、自助・共助・公助の精神を身に付けることを目的に実施されました。鳴門教育大学院生も参加し、一緒にまち歩きを体験しました。雨水排水ポンプ場では市の職員からの説明に熱心に耳を傾け、メモを取り、積極的に質問も行っていました。その他に王子川護岸壁や砂防ダム、消防団や若宮公民館防災倉庫などの見学を通して、自分たちの生活が地域の方々に支えられて成り立っていることに気付き、感謝するよい機会となりました。



ポンプ場見学



地域の方や大学院生とともに



新居浜市の取組

① 第2回中学校E S D主任研修会（12月9日）

中学校でのE S Dの授業展開や総合的な学習との違いについて研修しました。講師の阿南市立羽ノ浦中学校 細川威典校長先生は、8月のE S D研修会（講演会）においても実践発表をしていただいた方です。ご自身の豊富な実践発表に加えて、ワークショップも取り入れて、大変充実した研修となりました。中学校の先生同士がE S D推進における悩みを語り合う場もあり、思いを共有できるよい機会ともなりました。



**ワークショップ
「みんなのトンボ池」が大変好評でした。**

② 新居浜市小・中学生科学奨励賞について

11回目となる今年度は、3260点の応募があり、11月24日の第一次審査、12月3日の第二次審査を経て、特選6点、優秀17点、入選22点を決定しました。審査に当たっては、教職員以外にE S Dコンソーシアムの一員である、愛媛県総合科学博物館の学芸員の方や住友化学の方にもご協力をいただきました。来年1月16日に愛媛県総合科学博物館において、発表会を予定しています。ぜひ、ご来場いただき、素晴らしい学習成果をご覧ください。

③ 新居浜市小中学生ふるさと学習奨励賞について

11月20日の第一次審査、12月10日の第二次審査を経て、今年度の特選5点、優秀10点、入選16点が決定しました。今年度が3年目となるこの賞は、年々応募者が増えており、今年度は1718点の応募がありました。審査には、科学奨励賞と同様に教職員以外にE S Dコンソーシアムの一員である愛媛県科学博物館の学芸員の方にご協力いただきました。また、別子銅山記念図書館長さんにもご協力いただきました。発表会は2月14日、市民文化センター視聴覚室にて行います。当日はE S D発表会も行っております。ぜひ、併せて、お越しください。

お知らせ

新春スペシャルドラマ「百年の計、我にあり」が、来年1月3日午後12時からTBS系（愛媛ではあいテレビ）で全国放送されます。（1月9日午後7時から、BS-TBSでも放送。）

このドラマは、別子銅山の近代化と環境問題の解決に取り組んだ広瀬幸平・伊庭貞剛の生きざまを描いているものです。100年先を見据えて仕事に取り組んだリーダー達の姿は、まさにE S Dそのものです。ぜひ、多くの子どもたちに視聴してもらいたいと思い、ドラマの感想文コンクールを実施することになりました。詳細は各学校に文書でお知らせしています。お正月のひととき家族そろってテレビを視聴し、新居浜の偉人達について語り合う機会にしてみませんか。あかがねミュージアムパブリックビューイングにても放映します。児童・生徒のみなさん、冬休みの課題の一つとして、ぜひ積極的に取り組んでみましょう。

